

北栄地域福祉協議会(ふれあい北栄)の紹介

平成23年度の主な活動

- ・相談事業
- ・ふれあいサロン
- ・市営住宅内 空き家等の草刈り
- ・野菜の朝市
- ・ボランティア登録、あっせん
- ・広報紙の発行 など



問い合わせ

北栄地域福祉協議会
旭ヶ丘10-2-41(10丁目バス停前)
電話 (27)5411(FAX兼)

～今年も始めます～ 新鮮野菜の朝市



地域のひとり暮らし高齢者など、買い物に不便を感じている方を対象に、ふれあい北栄の事務所前で、新鮮野菜の朝市を行っています。野菜づくり愛好家がボランティア活動として安くて安全な新鮮野菜を地域の方に販売しています。購入者からは「歩いていけるからうれしい」「新鮮で安い」と好評です。野菜の朝市は、地域住民のふれあいの場になっています。



朝市のお知らせ(予定)

日 時

11月27日(日) 午前8時～
(野菜がなくなり次第終了)

場 所

ふれあい北栄事務所前

身近な地域の福祉活動を担う「地域福祉協議会」は、「自分たちが暮らしている地域の福祉課題は、まずは自らが取り組み、解決していく」と、地域住民で組織しています。

活動は、小学校区を基本に、その地域の課題に合わせて活動しています。

福祉委員会の活動紹介

身近な地域で、住民同士の助け合いを進めるために、社会福祉協議会では町内会単位に福祉委員を設置しています。今回は、6区福祉委員会(養正地域)の活動の様子を紹介します。

9月18日(日)、多治見市南消防署で第6区福祉委員会を開催し、福祉委員、区長、町内会長30人が、地図を使った災害図上訓練(DIG)を行いました。はじめに、南消防署の方からDIGの使い方の説明を受けた後、町内ごとにグループに分かれ、災害弱者である一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を確認し合ったり、避難所や危険な水路などを地図に書き込み、最後に全体で情報を共有しました。

今回の訓練は、福祉委員・民生児童委員・町内会長同士の交流の機会にもなり、参加者からは「地域との連携の必要性を感じた」とか「地域のことをもっと知らなければいけない」という感想がでした。この訓練を通して、地域の防災意識の向上と平常時からの見守り活動につながることを期待しています。

災害図上訓練(DIG)とは？

D isaster(災害)、I magination(想像)、G ame(ゲーム)の頭文字をとって名付けられたもので、地域で災害が発生した場合を想定し、危険が予測される地域、避難場所や避難経路を地図の上に書き込んでいく訓練です。



情報を地図に書き込む



グループ発表の様子